



シングルレバー 混合栓

施工説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
この施工説明書は、別紙「安全上のご注意」とあわせてご使用ください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお買い求めいただき、
まことにありがとうございました。

施工の前に

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付け後の点検のために必ず止水栓を設けてください。

施工時について

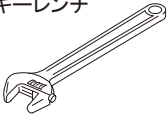
- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

製品同梱明細について

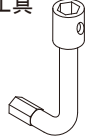
- 別紙「取扱説明書」の製品同梱明細をご参照のうえ、部材をご確認ください。

施工に必要な工具

●モンキーレンチ



●立水栓取付工具



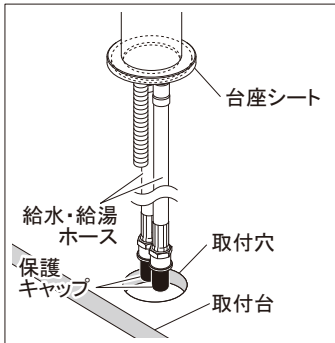
取付方法

*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

1. 混合栓本体を取付けます。

*取付穴径によって取付穴ガイドを使用します。

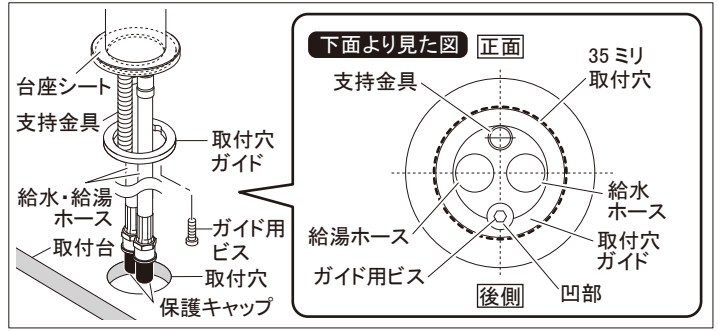
●取付穴径25～28ミリの場合



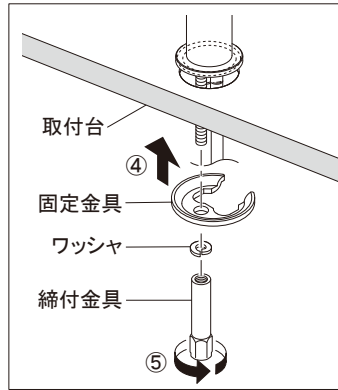
- ①混合栓本体を設置する場所の取付穴径を確認し、穴周囲の汚れを取ります。
- ②混合栓本体が正面を向くように取付台に差込みます。
*給水・給湯ホースの先端の保護キャップは取付けたまま作業してください。
*水栓取付位置がシンク、または洗面器中央でない場合は、スパウト位置、回転角度に合わせ位置決めをしてください。

取付方法(つづき)

●取付穴径35ミリの場合



- ①混合栓本体を設置する場所の取付穴径を確認し、穴周囲の汚れを取ります。
- ②付属の取付穴ガイドを水栓本体の底面にガイド用ビスで固定してください。
- ③混合栓本体が正面を向くように取付台に差込みます。
*給水・給湯ホースの先端の保護キャップは取付けたまま作業してください。
*水栓取付位置がシンク、または洗面器中央でない場合は、スパウト位置、回転角度に合わせ位置決めをしてください。



- ④支持金具に締付金具パーツを図を参考に通します。

必ず実行 組付ける順序を間違えないようご注意ください。

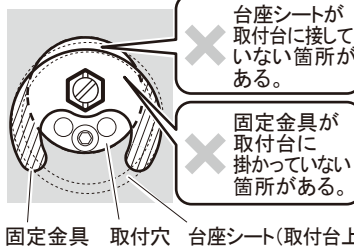
- ⑤混合栓本体が正面を向くように締付金具を仮締めし、取付位置を調整してから、「立水栓取付工具」などでしっかり締付け混合栓本体を確実に固定します。
*水栓取付位置がシンク、または洗面器中央でない場合は、スパウト位置、回転角度に合わせ位置決めをしてください。

正しい取付状態



- ⑥左図を参照し、取付状態を確認します。
*台座シートが取付台に全周接するように取付けられているか。
*固定金具が確実に取付台に掛かるように取付けられているか。

誤った取付状態



- 締付金具パーツは組付ける順序を間違えないよう取付けてください。
- 締付金具を締付ける際は、適切な工具を使用してください。締付ける際に工具が給水・給湯ホースを損傷し、漏水の原因になる場合があります。
- 締付金具は、締付けすぎないでください。固定金具が変形するまで締付けると固定力がなくなります。
- 混合栓本体を固定する際に、ハンドル部を持って、締付けを行わないでください。カートリッジに無理な力がかかり破損する恐れがあります。
- 混合栓本体が取付穴の中心にくるように固定をしてください。偏って取付けますと、しっかりと固定されない恐れがあります。
- 混合栓本体を固定した後に、位置調整を行わないでください。無理な力がかかり器具の破損やゆるみの原因になります。



注意 ●混合栓本体が正しく固定されないと、グラつき、取付台下へ漏水、部品の損傷の原因になりますのでご注意ください。
●台座シートが取付台に接していない箇所があると、取付台下に水が浸入してグラつき、漏水の原因になりますのでご注意ください。

取付方法(つづき)

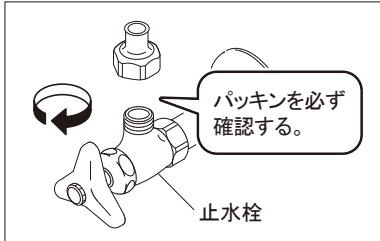
取付方法(つづき)

2.給水・給湯ホースを取付けます。

2.給水・給湯ホースを取付けます。(つづき)

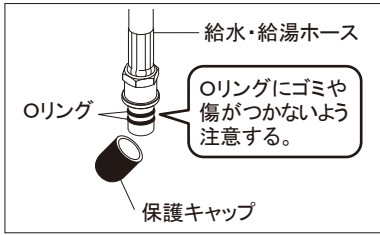


①ジョイント金具にパッキンをはめ込みます。

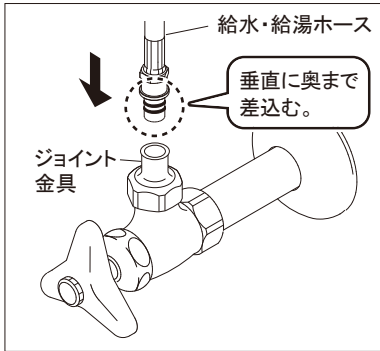


②ジョイント金具にパッキンが付いているのをご確認のうえ、止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

注意 パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れにご注意ください。



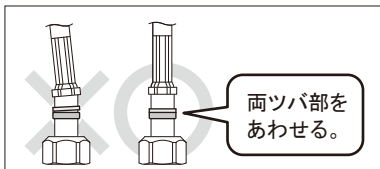
③給水・給湯ホースの先端の保護キャップを外します。



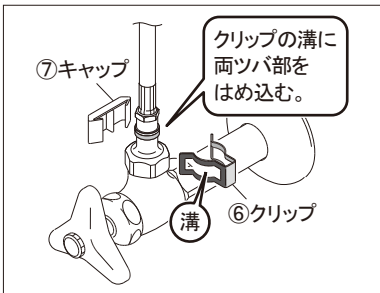
④給水・給湯ホースをジョイント金具へ垂直に奥までしっかりと差込みます。

必ず実行 給水・給湯ホースをジョイント金具に差込むときは、リングに傷を付けないよう垂直にゆっくり差込んでください。

注意 ホースの(湯)水シールを確認して逆配管にならないように設置してください。



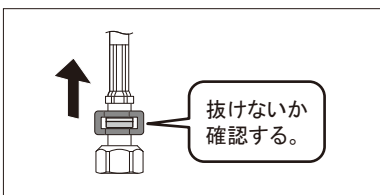
⑤給水・給湯ホースがジョイント金具に正しく差込まれているか確認をします。



⑥クリップの溝に、両ツバ部(給水・給湯ホース側とジョイント金具側)が収まるようにクリップをはめ込みます。

⑦キャップをクリップに取付けます。

注意 クリップで手を切る恐れがありますので、固定後は必ずキャップを取付けた状態にしてください。



⑧給水・給湯ホースを上を引き、確実に接続されているか確認をします。

注意 確実に取付けないと漏水する恐れがありますのでご注意ください。

<p>必ず実行</p>	<p>クリップが正しい位置に取付けられていないと通水時に給水・給湯ホースが抜け、漏水を起こす恐れがあります。図を参考に、確実に取付けられているかご確認ください。</p>
	<p>正しく取付けられているか ななめになっている 両ツバ部がはまっていない</p>
<p>禁止</p>	<p>給水・給湯ホースの曲げ半径は、60ミリ以上確保してください。急激に曲げますと、パイプがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。</p>
	<p>曲げ半径60ミリ以上</p>
<p>注意</p>	<p>給水・給湯ホースは根元から急激に曲げないでください。パイプ、ホースにキズが付き、強度が失われたり、パイプがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。また、漏水を起こす恐れがあります。</p>
	<p>給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。</p>

施工後の確認

- 止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認をします。漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所の施工をやり直してください。
- ハンドルを中央位置で上げ、湯水の混合具合をご確認ください。低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、別紙取扱説明書の「こんな時には…簡単な点検と対処」を参考に調節を行ってください。



株式会社 カクダイ 本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611
広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371

0520GF

M-A9996

無断転載・複写を禁ず